

プラスチックリサイクル化学研究会 平成26年度総会のご案内

主 催：プラスチックリサイクル化学研究会（FSRJ）
日 時：平成 26 年 6 月 2 日（月）
場 所：早稲田大学西早稲田キャンパス（詳細次ページ）
55S 号館 2 階 第三会議室

次 第

13:00～13:30 総会
13:30～13:50 表彰式
14:00～17:10 講演会「リサイクルビジネスで活躍する若きリーダー達」（参加費無料）
17:20～19:20 懇親会（参加費 3000 円）

【講演会概要】

14：00～15：00 「消費者・小売・メーカー・学校が連携する新しいリサイクル」
岩元美智彦 氏 日本環境設計株式会社 社長 <http://www.jeplan.co.jp/>



資源循環社会をつくるためには、もちろん技術が重要ですが、それだけではなく誰にでもわかりやすく参加しやすいしくみ「環境動線」も必要です。環境動線とは人々の生活動線にあるスーパーや専門店、家電量販店、学校などが回収拠点となり、資源循環へつながる動線になるというコンセプトです。この環境動線の事例として、現在実施中の衣服リサイクル FUKU-FUKU プロジェクト、プラスチック製品リサイクル PLA-PLUS プロジェクトを紹介します。

15：00～16：00 「複合樹脂廃棄物のタイルカーペットのマテリアルリサイクル事業」
越智 晶氏 リファインバース株式会社 社長 <http://www.r-inverse.com/>



独自開発した技術により構成素材ごとに分離することで再生樹脂を製造し、再生された樹脂はタイルカーペットの原料となる水平リサイクルモデルを実現して石油化学と産業廃棄物を結びつけた循環型バリューチェーンを新たに創出した。

16：00～16：10 休憩

16 : 10~17 : 10 「リサイクルとビジネスモデル」

張田 真氏 ハリタ金属株式会社 社長 <http://www.harita.co.jp/>



様々な使用済製品が大量に廃棄される昨今、リサイクル社会システムの確立は資源確保と環境負荷低減の視点からも重要である。日本では世界に先駆け多くの個別リサイクル法が施行されたが、真の意味で持続可能な循環型社会の構築は今からが本番である。我々は企業として技術の高度化と社会システムを最適化させることにより、経済原則にも成り立つ、ハイグレードなりサイクル社会の実現を目指している。本講演では資源循環の予測される潮流から、今後のリサイクルビジネスモデルに関する考えを述べる。



プラスチックリサイクル化学研究会 第16回研究討論会のご案内

- 主催 : プラスチックリサイクル化学研究会 (FSRJ)
日時 : 平成26年9月11日(木)～12日(金)
場所 : 名古屋大学 ES 総合館
〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 ES 総合館
<http://www.engg.nagoya-u.ac.jp/access/campusmap.html>
- 形式 : 口頭発表およびポスター発表 (若手研究者賞: 対象35歳以下)
基調講演 : 名古屋市環境局資源化推進室長 櫻間利和氏
他 1件 交渉中
その他 : 企業展示ブース (法人会員: 無料, 非会員: 10,000円/件)
- 参加費 : FSRJ 会員 8,000円, 非会員 10,000円, 学生 3,000円
(会員歴5年以上で65歳以上の参加者は無料, ただし発表する場合は4,000円)
懇親会 : 平成26年9月11日(木)
場所 名古屋大学 グリーンサロン東山 レストラン花の木 会費 4,000円
テクニカルツアー : 平成26年9月12日(金) 午後
株式会社アビヅ (名古屋市港区昭和町14-24)
グリーンサイクル株式会社 (名古屋市港区昭和町13)
- 発表申込期限 : 平成26年7月11日(金)
- 発表申込方法 : ①～⑬の項目について記入の上、下記問い合わせ先に E-mail でお申し込みください。
① 発表者名 ② (若手研究者賞に該当する年齢の場合) 発表者年齢 ③ 所属機関名
④ 部署名 ⑤ 住所 ⑥ 電話番号 ⑦ Fax 番号 ⑧ E-mail アドレス
⑨ 共著者氏名および所属 ⑩ 参加種別 (口頭発表 or ポスター発表) ⑪ 発表題目
⑫ 発表概要 (日本語で100字程度)
- 予稿原稿期限 : 平成26年8月8日(金)
- 問い合わせ先 : FSRJ 第16回研究討論会実行委員会事務局
中部大学工学部機械工学科 教授 行本正雄
Tel. 0568-51-9451 E-mail m-yukumt@isc.chubu.ac.jp

